企業価値の創出へ向けた取り組み（非財務指標と財務成果のつながり）

3つの成長戦略における重要指標を財務成果までの期間をふまえて関連図で表しています。

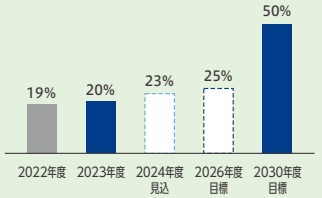
重要指標

成果に反映されるまでの期間

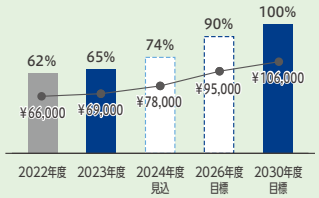
長期視点（6～10年）　中期視点（3～5年）　短期視点（1～2年）

人財価値創造

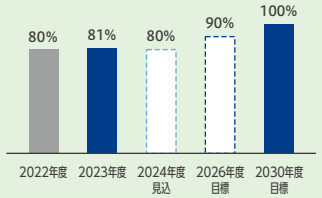
管理職における女性/外国籍/キャリア採用者の合計の比率



平均研修金額（人／年）



年次有給休暇取得率



経営価値創造

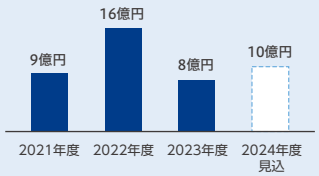
エンゲージメント向上のための取り組み

第三回社員意識調査の回答率 **91.4%**

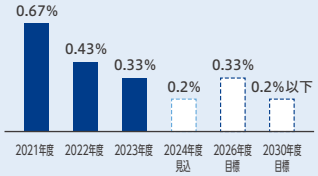
ランチミーティングの回数（社長と課長職） **11回**
※2024年8月末時点

タウンホールミーティングの回数 **8回**
※2024年8月末時点

職場環境改善投資額

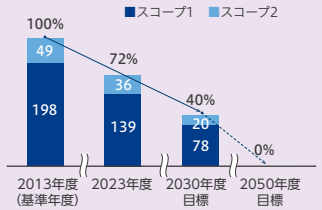


労働災害度数率



事業価値創造

温室効果ガス排出量削減の中長期目標（Scope1+2）



サプライチェーン調達アンケートの実施

2030年目標
調達額90%の取引先へのアンケート実施

2023年度実績
原燃料の全取引先にアンケート実施し、78%から回答

Denka Innovation Day（ビジネスコンテスト）

▶P28

応募件数 74件
（2023年度）

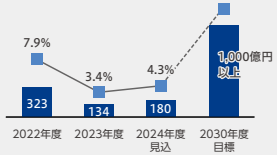
財務へのインパクト

- 多様な人財の活躍 リーダーシップの多様性
- 従業員のスキルアップ
- 働き方改革
- 従業員一人ひとりの「挑戦」する姿勢
- エンゲージメントの向上
- イノベーションを生み出す力
- サステナブルな事業構造への変換
- 持続可能なサプライチェーンの構築

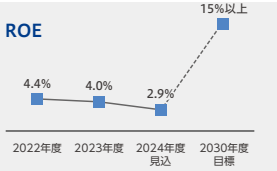
→ 売上高・利益率の上昇 / 新事業・新製品の展開

財務成果

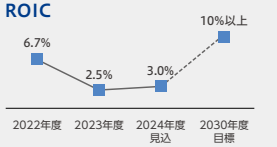
営業利益・営業利益率



ROE



ROIC



積極的な株主還元方針

総還元性向50%
（経営計画8年間累計）
将来キャッシュフローなども加味し、1株当たり配当額の維持・増加を目指す

→ 持続的な成長基盤の構築

→ **企業価値の創出**